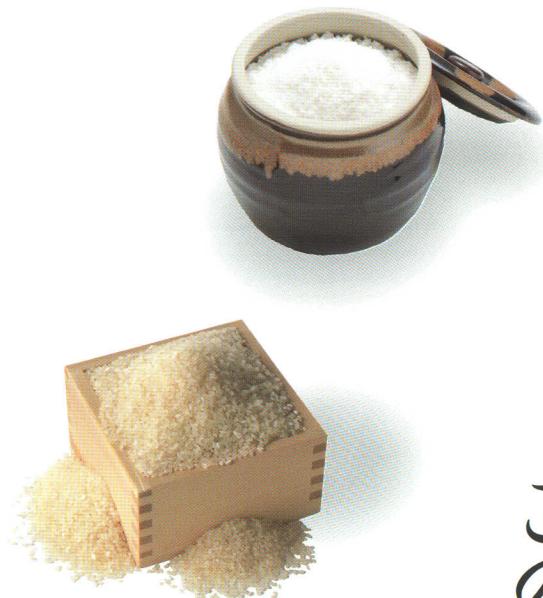


“人馬織りなす”とはこのこと



ばんぢやが娘の頃は、

自転車なんてねがつたがら

人はみんな歩きで、町ん中は人力車や馬車が  
ショッちゅう通つてで、

それは賑やかなもんであつたわい。

❖ 塩と米が行き來した越後街道

越後街道は、白川街道、一本松街道、米沢街道、下野街道とともに、会津五街道と呼ばれる。これ

らの街道は、会津藩の公用道路で、若松城下を中心に行先の名前が付けられている。なかでも越後

大動脈だった。特産物と言うのは主に、会津から  
は大阪廻米や山の幸、越後からは塩や海産物。ど  
ちらからの流通が止まつても大きな影響が出る重  
要なルートだった。

◆ 東松峠と車峠と鳥居峠  
たばなまつ

越後街道の時代、ここには東松・車・鳥居の三峰があつた。鎌倉幕府の執権北条時頼は「陸奥の満田の山の 東松 千代の齡を 家つとにせん」と、東松の老松を歌い、またイギリスの女性探検家イサベラ・バードは明治十一年に車峠の茶屋に一泊して、その風光を絶賛している。鳥居峠の名は、飯豊山神社の一ノ鳥居が建っていたからと語られてゐる。